

肝・相談室～風だより～

～力を合わせて肝臓病を克服しよう～

Vol.10 2014/9



徳島大学病院 肝疾患相談室です



朝晩涼しくなり、秋めいてまいりました。
肝疾患相談室の活動報告をさせていただきます。



・第11回肝炎専門医療従事者研修会を開催しました

平成26年8月1日(金)に徳島市シビックセンターにて、第11回肝炎専門医療従事者研修会を以下のプログラムにて開催しました。

◆一般講演

①『第50回日本肝臓学会総会特別シンポジウム参加報告』

徳島大学病院 肝疾患相談室 相談員 楠本彩子 MSW

②『C型肝炎におけるシメプレビルを用いた3剤併用療法の治療成績』

徳島大学大学院 ヘルスバイオサイエンス研究部 消化器内科学 助教 友成 哲 先生

座長：①、②ともに 大久保病院 副院長 玉木克佳 先生

◆特別講演

『肝炎・肝がん診療の基本から最新治療まで』

京都大学大学院 医学研究科 消化器内科学 講師 上田佳秀 先生

座長：徳島県肝炎対策協議会 委員長 島田光生 先生

今回の研修会も肝疾患専門医療機関や無料肝炎ウイルス検査受託医療機関の先生方、地域肝炎治療コーディネーターの方々が約125名(三好会場 9名、上那賀会場 3名)ご参加下さいました。これからも肝炎専門医療従事者の知識向上のために、このような研修会を続けていきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。

※次回第12回は、今年11月5日(水)の予定です。



写真左上より時計まわりに、
京都大学・上田先生、肝炎対策協議会・島田先生、
大久保病院・玉木先生、徳島大学・友成先生



上那賀病院と
三好病院への
WEB中継の様子

会場全体の様子



研修会終了後の
集合写真

C型慢性肝炎・C型代償性肝硬変治療薬『ダクルインザ・スンベプラ併用療法』

ダクルインザ(ダクラタスビル)・スンベプラ(アスナプレビル)併用療法は、インターフェロン・リバビリンを使用しない日本初の内服のみによる抗ウイルス療法です。

ダクルインザ・スンベプラ併用療法の特性:

- ①ダクルインザ錠(ダクラタスビル塩酸塩)は世界初のNS5A複製複合体阻害剤で、スンベプラカプセル(アスナプレビル)はNS3/4Aプロテアーゼ阻害剤です。
- ②ダクルインザ錠及びスンベプラカプセルは、併用で24週間使用します。

(用法及び用量:)

ダクルインザ錠・・・通常、成人にはダクラタスビルとして1回60mgを1日1回経口投与

スンベプラカプセル・・・通常、成人にはアスナプレビルとして1回100mgを1日2回経口投与

- ③ダクルインザ・スンベプラカプセル併用療法は、日本初の経口剤のみによるセログループ1(ジェノタイプ1)のC型慢性肝炎又はC型代償性肝硬変における次のいずれかのウイルス血症の改善に対する治療法です。

(1) インターフェロンを含む治療法に不適格の未治療あるいは不耐容のPt

(2) インターフェロンを含む治療法で無効となったPt

※本剤は、ウイルス性肝疾患の治療に十分な知識・経験を持つ医師のもとで、本剤の投与が適切と判断される患者さんに対してのみ投与することとされています。



B型慢性肝疾患治療『テノゼット錠(テノホビル)』

B型慢性肝疾患に対する核酸アナログ製剤治療として、平成26年5月に「テノゼット錠300mg」が発売されています。

テノゼット錠(テノホビル)の作用と効果について:

B型肝炎ウイルスの増殖を抑制することでウイルス量を減らし、肝機能を改善します。通常、B型慢性肝炎およびB型肝硬変の治療に用いられます。

用法・用量について:

通常、成人は1回1錠(主成分として300mg)を1日1回服用します(食前でも食後でも構いません)。

“飲み忘れた場合は、気がついた時点ですぐに1回分を服用し、絶対に2回分を一度に飲んではいけません。

医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めてはいけません。”とされています。



※新しい治療薬の詳細については、お気軽に肝疾患相談室にお問い合わせ下さい。

予 告

肝疾患相談室は、これから以下の活動を計画中です♪

ホームページ上で随時ご案内いたしますので、よろしくお願いいたします。



栄養部



消化器内科



代表



消化器外科



ソーシャルワーカー

- ・肝臓病教室(院内)
- ・肝炎検査等の啓発活動
- ・講演会 など

☆今後、看護部や薬剤部にも協力をお願いしてアクティブに活動をしていきたいと考えております☆



詳しいお知らせはホームページをご覧ください♪



発行: 肝疾患相談室 (地域医療連携センター内) ☎ 088-633-9002
月～金(病院の休日を除く) 10時～16時(12時～13時を除く)
ホームページURL: <http://www.tokudai-kanshikkan.jp/>

～ 肝臓病の克服をめざして、県民の皆さんと医療と行政が手を取り合いましょう ～